

問1-2 暮らしが苦しくなったと感じる理由

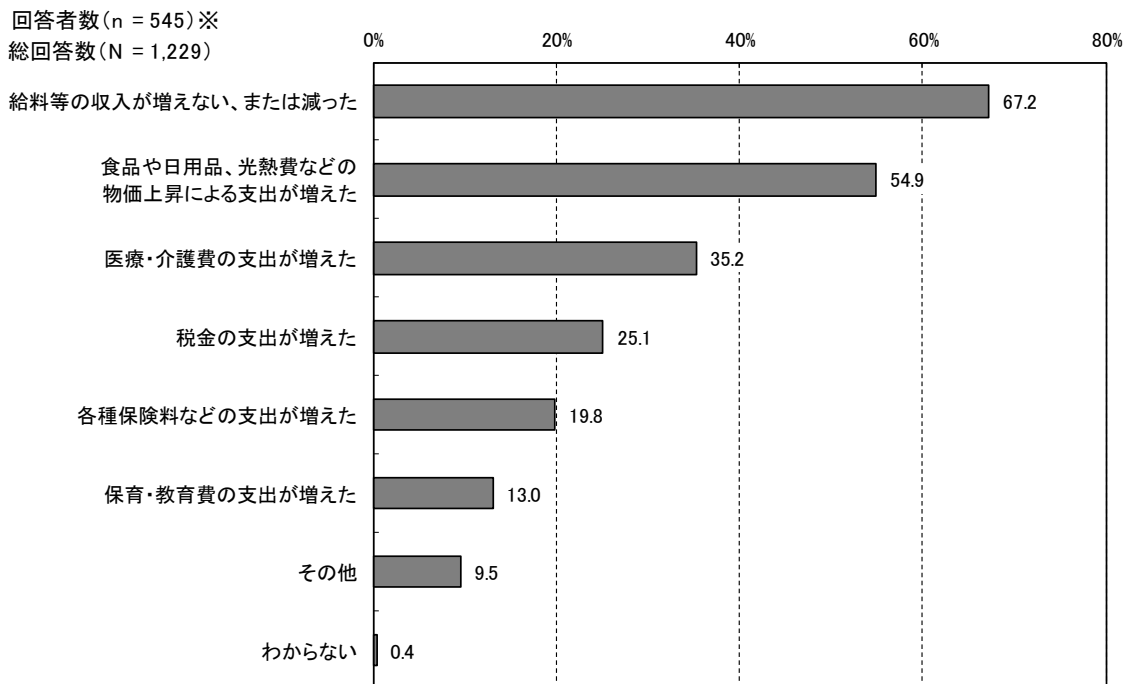
問1-2 「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。

あなたが、暮らしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。

(3つまで)

全体(図1-2-1)で見ると、「給料等の収入が増えない、または減った」が67.2%と最も高く、次いで「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」(54.9%)、「医療・介護費の支出が増えた」(35.2%)の順となっている。

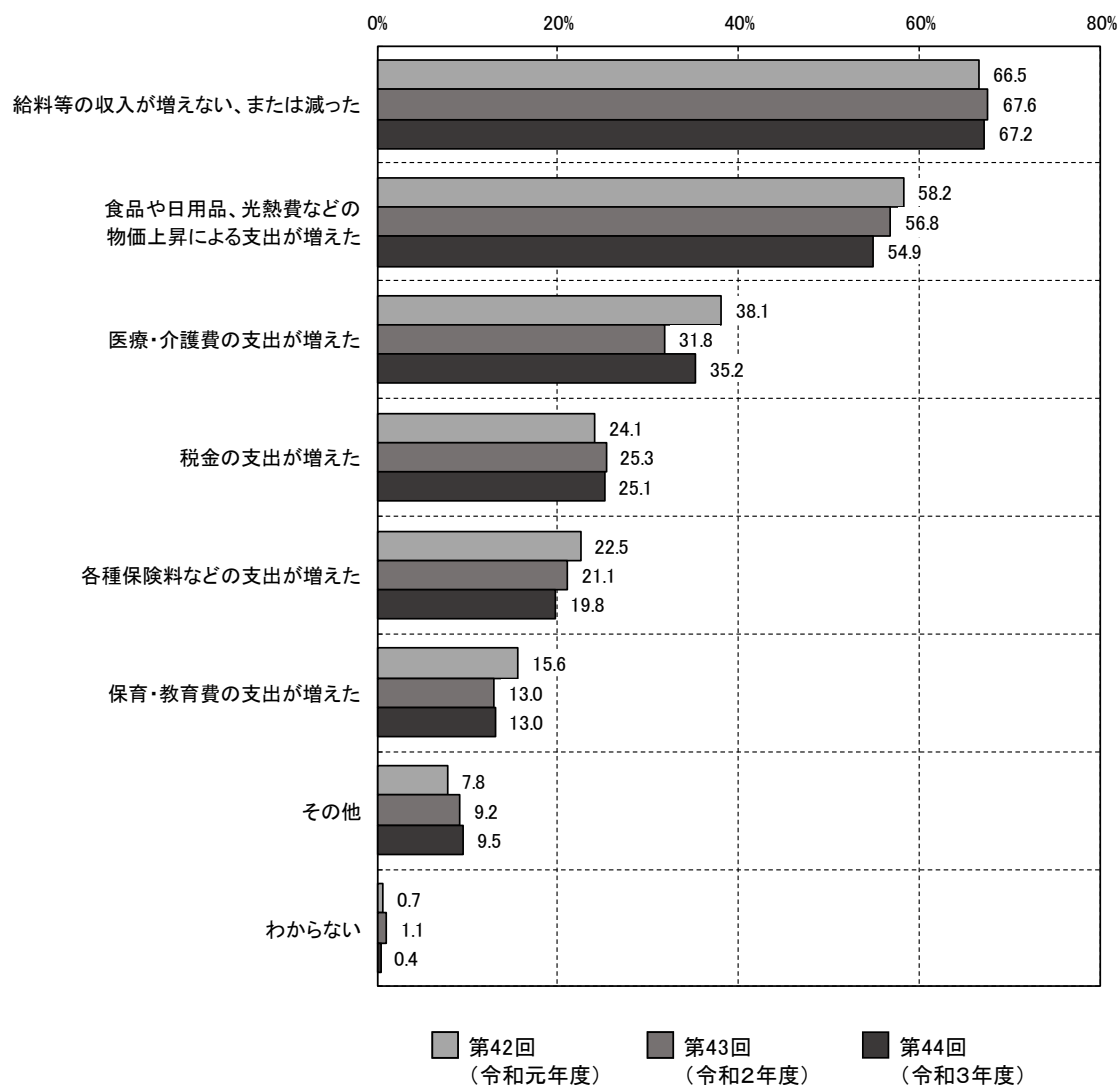
図1-2-1 暮らしが苦しくなったと感じる理由



※ 問1で「苦しくなった」と答えた方のみ

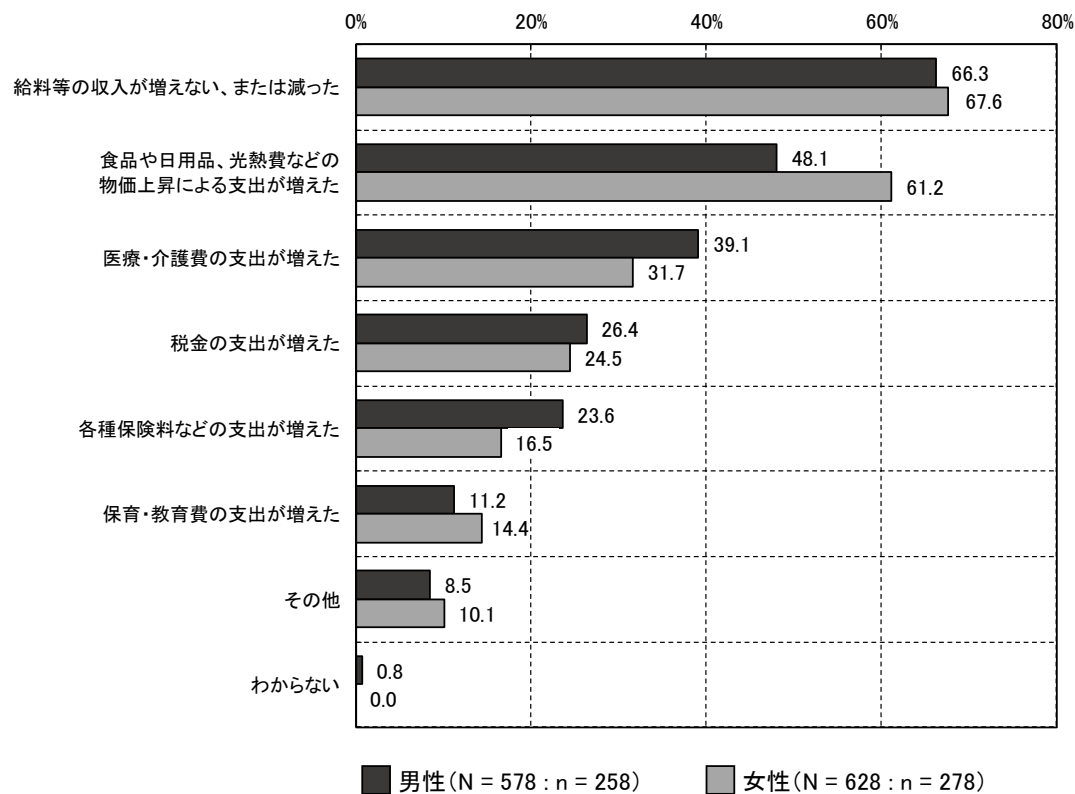
前々回・前回比較（図 1-2-2）で見ると、「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」は年々低くなっている。「医療・介護費の支出が増えた」は前回に比べて 3.4 ポイント高くなっている。

図 1-2-2 【前々回・前回比較】くらしが苦しくなったと感じる理由



性別（図 1-2-3）で見ると、男女ともに「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高くなっている。「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」は女性が男性より 13.1 ポイント高く、「医療・介護費の支出が増えた」は男性が女性より 7.4 ポイント高くなっている。

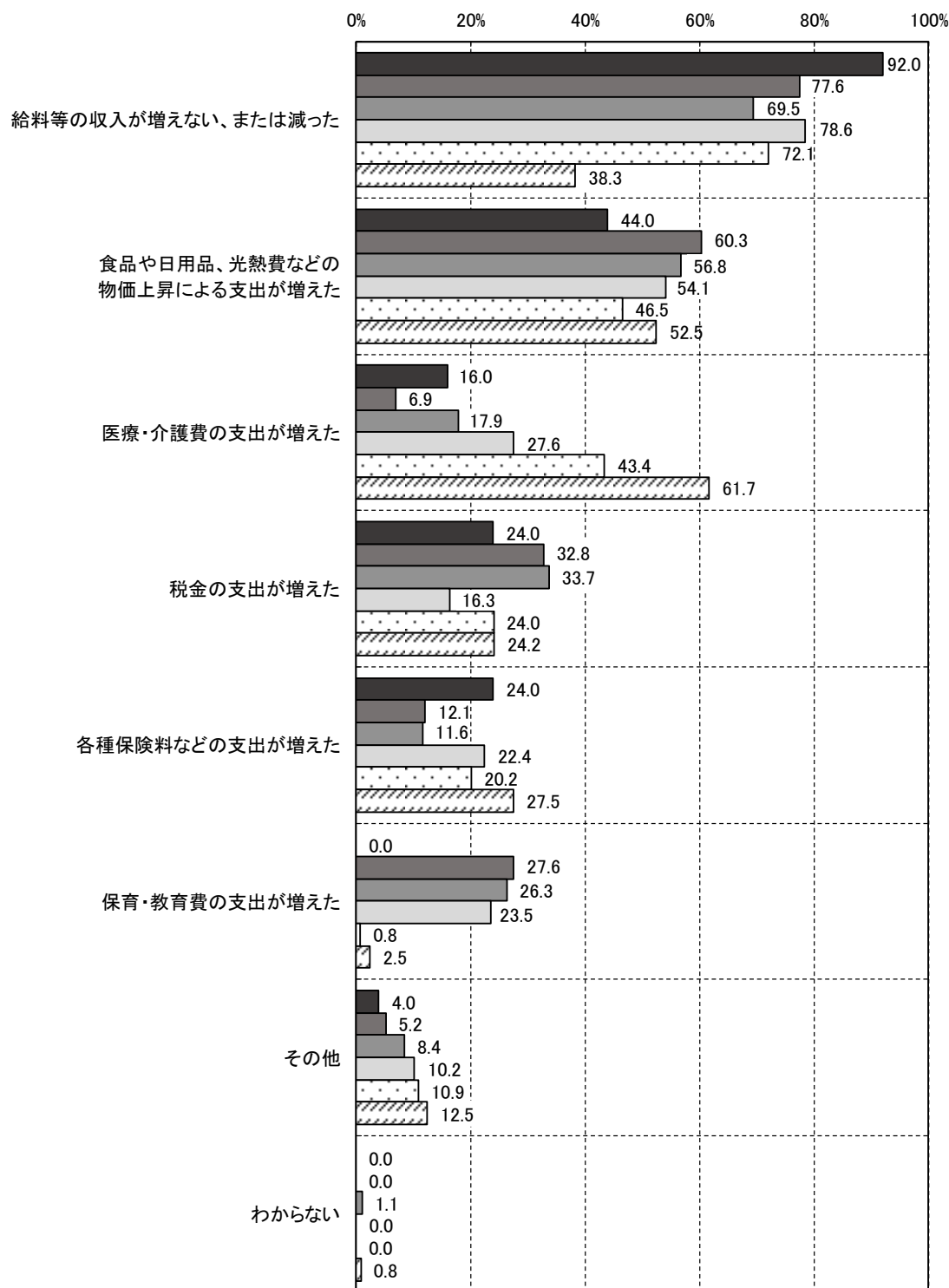
図 1-2-3 【性別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 1-2-4）でみると、70 歳以上を除くいずれの年代においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、70 歳以上では「医療・介護費の支出が増えた」が最も高くなっている。

図 1-2-4 【年代別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由

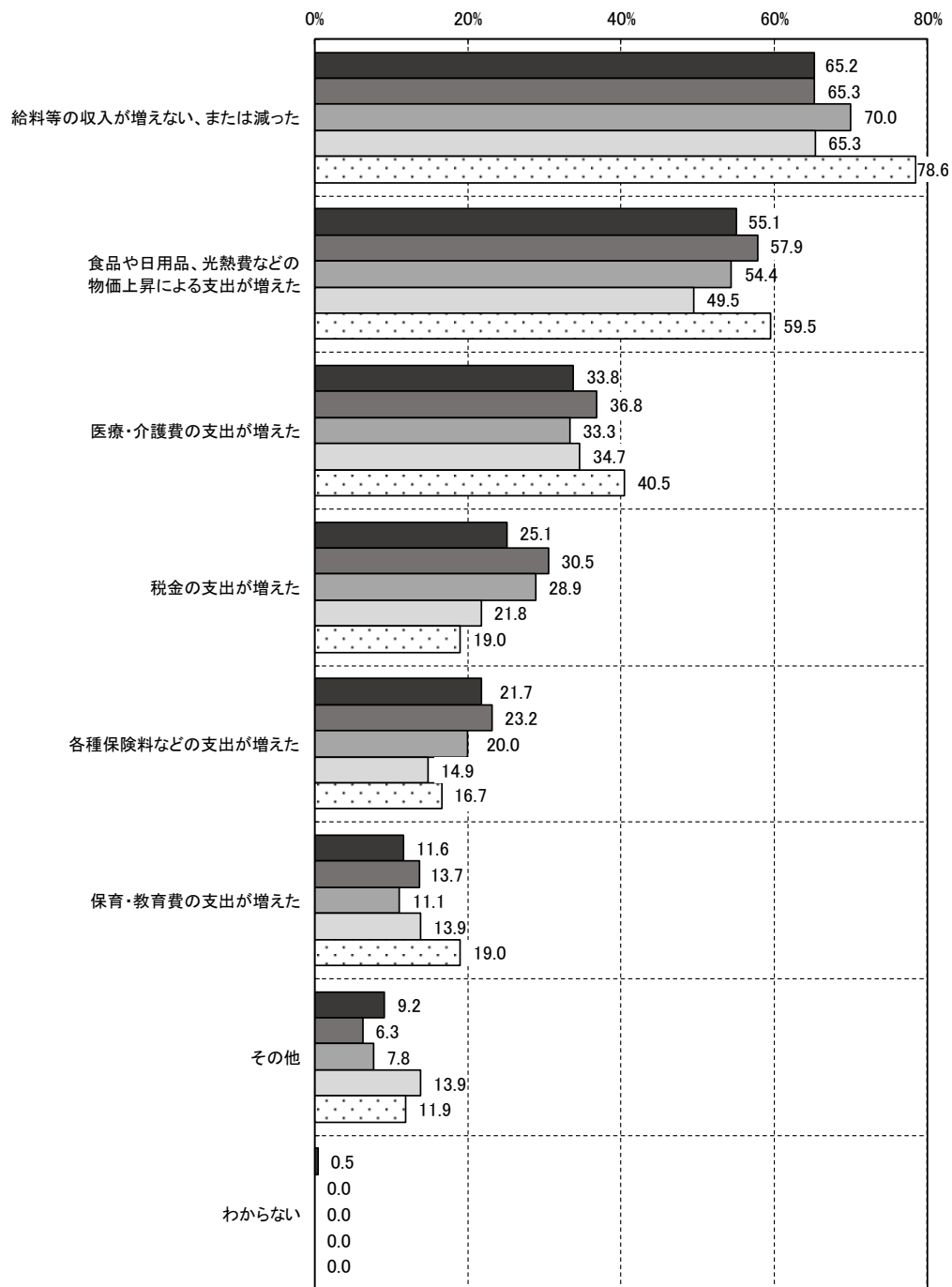


■ 20～29歳 (N = 51 : n = 25) ■ 30～39歳 (N = 129 : n = 58)
 ■ 40～49歳 (N = 214 : n = 95) ■ 50～59歳 (N = 228 : n = 98)
 ■ 60～69歳 (N = 281 : n = 129) ■ 70歳以上 (N = 264 : n = 120)

※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 1-2-5）でみると、いずれの居住圏域においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、次いで「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」となっている。

図 1-2-5 【居住圏域別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由

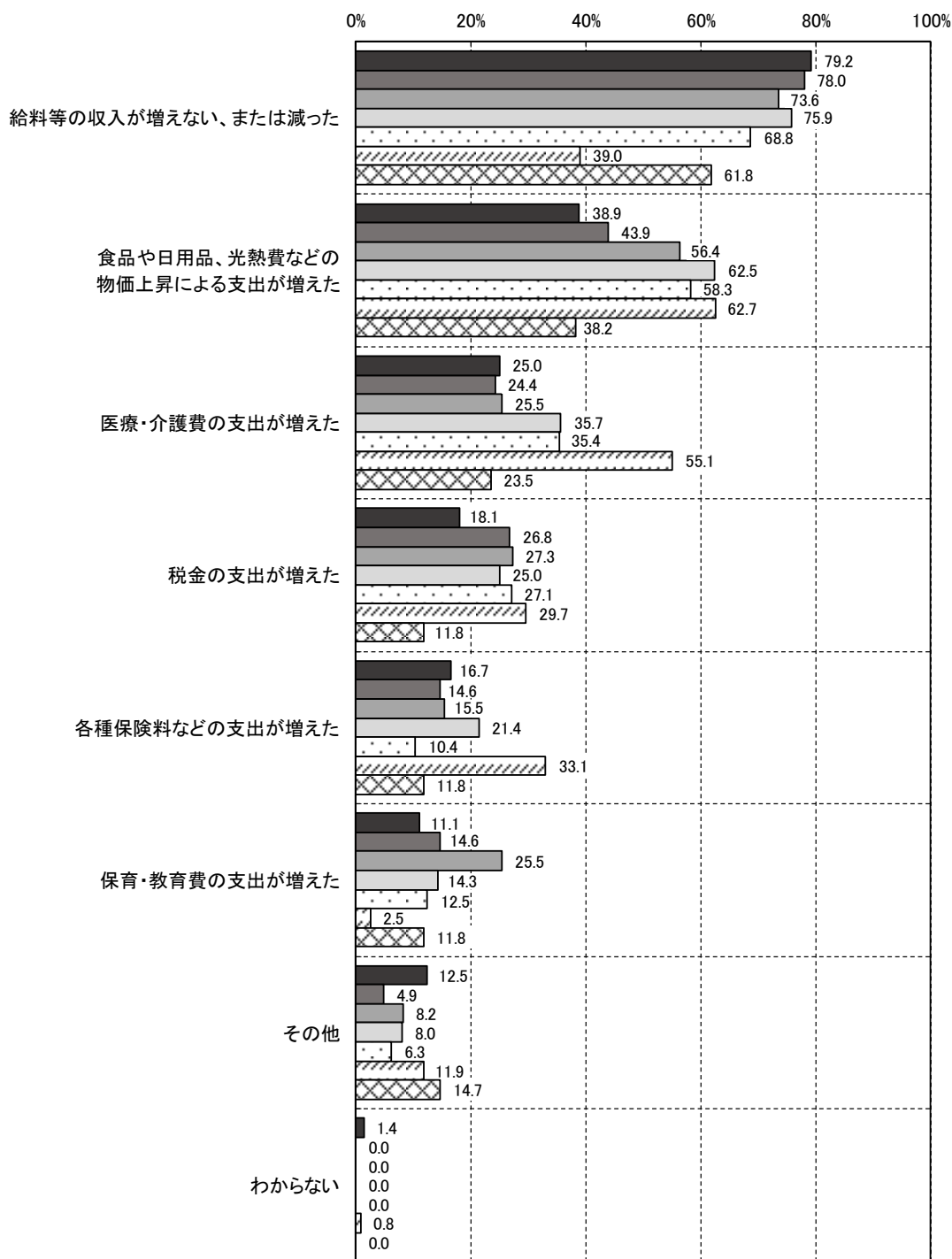


■ 岐阜圏域 (N = 460 : n = 207) ■ 西濃圏域 (N = 222 : n = 95)
 ■ 中濃圏域 (N = 204 : n = 90) ■ 東濃圏域 (N = 216 : n = 101)
 ■ 飛騨圏域 (N = 103 : n = 42)

※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 1-2-6）でみると、無職を除くいずれの職業においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、無職では「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高くなっている。

図 1-2-6 【職業別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由



- 自営業 (N = 146 : n = 72)
- 会社・団体役員 (N = 85 : n = 41)
- 正規の従業員・職員 (N = 255 : n = 110)
- パートタイム・アルバイト・派遣 (N = 272 : n = 112)
- 家事従事 (N = 105 : n = 48)
- 無職 (N = 277 : n = 118)
- その他 (N = 59 : n = 34)

※ その他には、自由業、学生を含む。
 ※ N=総回答数 n=回答者数